

## アカタマゾウムシ

ヤチダモの葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約8mm。体は黄白色、脚（あし）はない。透明な粘着物で覆われ、それで葉にへばりつく。頭は黒い。成虫であるゾウムシは体長約5mmでうす茶色。葉柄や青枝に穴を開けて食べる。

まれに多発する。



1. 幼虫，体長8mm。1990/6/8.

新得，ヤチダモ。

【学名】 *Stereonychus thoracicus*

【分類】 コウチュウ目（Coleoptera），ゾウムシ科（Curculionidae）

【分布】 北海道，本州，九州。

### 【生態】

年2世代。蛹越冬。春に成虫が羽化し、産卵する。幼虫は6月に出現し、十分成長すると地面に降りて落葉中で繭を作り蛹になる。7月頃、成虫になり、産卵する。8月に再び幼虫が現れる。

### 【被害と防除】

ヤチダモ林でまれに多発する。食害による木の衰弱や枯れは記録がないようである。防除は普通必要とされない。

### 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，2001/12/15.

yochu1.JPG

「写真1」原秀穂，北海道立林業試験場，1990.